

みんなに発信したい！
平石地域の豊かな自然の中で
自分を表現する保育

社会福祉法人 わたり福祉会
さくらみなみ保育園

さくらみなみ保育園ってどんなところ？

- ▶ 福島市平石にあります。
- ▶ 田畑に囲まれた自然豊かな環境が一番の特徴です。



あそびを豊かに

- ▶ コロナ禍で、メディアに触れる機会も多くなりがちなか中、**自然やイメージの世界を友だちと一緒に楽しんでほしい**、そんな思いで保育をしています。
- ▶ 子どもたちは絵本の物語にイメージを膨らませながら、物語の登場人物に手紙を書いたり、登場人物から届いた手紙と地図を手掛かりに、宝探しをしました。宝物のきれいなビー玉を使って絞り染めをしたり、イメージの世界が保育をより豊かにしてくれます。



早寝早起き元気な子どもたち

- ▶ 『早寝早起き』に取り組んでいます。**朝から太陽の光を浴びて外で遊び**、丈夫な体づくりします。
- ▶ さくらみなみ保育園の**子ども達は自然をよく知っています**。虫探し・花摘み・野菜の収穫、散歩、水遊び・雪遊びなど、移り行く季節を五感で感じながら、平石の自然の中で感性豊かに育ちます。



地域交流を大事に

小学校との交流や、隣にある“はなしのぶ”のお年寄りとの交流、お米名人との田植えや稲刈りなど、地域に支えられ、様々な経験をしています。



そんなさくらみなみ保育園の自然豊かな特色を生かした 2022年度の取り組みを紹介したいと思います



自然保育PART 1

【自然環境を活かした保育 ～栽培とクッキング～】

- ▶畑や田んぼに囲まれ、**野菜やお米**を育てています。毎日観察しながら、収穫を楽しみに待ちます。
- ▶休み明け、「**あかちゃんきゅうり**だったのに、**おばけきゅうり**になってる！」と、雨上がりの急激な野菜の変化に驚きと発見があります。世話をする中で「**ミミズ**がいるといいつちなんだよね」と知識を身につけたり、「**ほいくえん**のやさいはあまいからたべれる」と、自分が作った野菜に興味や愛着がわいたりします。

- ▶収穫した大豆を使って味噌を作ったり、トマトでピザを作ったり、身近な食べ物の作る工程も知りながら、**クッキング**を楽しむことも、安心安全の給食の大事な柱の一つです。



自然保育PART 2

【日本の文化を大事にする保育 ～伝統文化～】

- ▶ 荒馬(年長児)・竹踊り(年中児)など、東北地方に伝わる**民舞**を保育に取り入れています。難しいステップに挑戦し、友だちと力を合わせて身も心も跳ね回ります。昔から荒馬は豊作を祝って踊られてきました。保育園の稲刈りの後、さくら保育園の年長児と荒馬発表会をします。
- ▶ 伝統文化の一つとして、**和太鼓**にも取り組んでいます。子どもも職員もワークショップでプロによる指導を受け、夏まつりなどで発表しています。
- ▶ **伝統文化**に触れたり、プロの演技に触れたり、直接体験することを大切にしています。



自然保育PART3

【子どもの思いを表現する保育 ～造形美術～】

- ▶ 「だいこんがこんなにおおきかった」「ゆきいっぱいふってみんなでゆきだるまつくったのがたのしかった」等、子どもの心が動いた時、それを表現し、大好きな誰かに伝えようとしています。表現方法の一つとして、作ったり、描いたりする**造形美術**があります。
- ▶ 様々な素材や技法に出会い、「だいこんて、しろだけじゃなくて、うえのほうはうすいみどりだったからしろとみどりまぜた」と発見したり、「もっとかみをつなげておおきくしたい」と子どもの表現したい思いを大事に取り組んでいきます。



はたけのだいこん、
すごくおおきかったんだ



自然保育PART4

【地域とのつながりを大事にする保育 ～地域交流～】

- ▶ 保育園は、地域の方々に見守っていただきながら毎日の生活を送っています。散歩先で声をかけてもらったり、田植えや稲刈りをお手伝いいただいたり、地域の小学校との交流があったり、**地域の方とのつながり**のおかげで子どもたちの経験の幅も広がります。同じ平石地域にある高齢者施設に民舞を披露しに行ったり、田植えや稲刈りを通して、交流を続けていきます。



自然保育PART5

【保育を発信したい ～保育の見える化～】

- ▶ コロナ禍3年目となりました。保護者の送迎はベランダまで、行事は時間と人数を制限して行う状況が続いています。

保育士の思い



保育園の様子をみる機会が減っている保護者の皆さんに、子どもの様子をもっと伝えたい！

仕方ないけれど、行事は参加人数に制限があって...

ベランダ送迎だから我が子の園内での様子を見る機会が減ったなあ

保護者の声



そこで...

【保育のドキュメンテーション】

に挑戦します！

保育の見える化 ドキュメンテーションの活用とは？

▶ **写真などを活用**しながら、子どもの素敵どころ、心が動いたところ、**子どもの魅力を記録**することです。写真とコメントを使って伝え、目に見えるように可視化した成長記録の書き方です。

▶ 「〇〇しました」だけの記録ではなく、子どもや保育者の**心が動いた場面の記録**であることが大切です。

保育者が子どもの姿にワクワクした記録だからこそ、保護者にも結果的に伝わる魅力的なものになり、**発達の見える化**を可能にした記録の取り方です。

すごーい！
あっちまでみどりにみえるよ～



ドキュメンテーション例

タイトル【これなーに？はじめてのたけのこ】

- ▶ 5月。平石地域の方からたけのこをどっさりいただきました。玄関先に並んでいたたけのこを見つけた2歳のAくん。

Aくん これなーに？ずくぼんじょ？

栄養士 たけのこっていうんだよ。
さわってみる？

Aくん うん。うわ！おもーい！



栄養士

Bちゃんもたけのこ
持ってみる？

Bちゃん

うん！チクチクするね。

初めてたけのこを触った瞬間、重かったり、チクチクする毛が生えていることを知った2人。2人の初めての出会いを保護者さんにもより分かりやすく伝えたい、そんな思いを形にしたのがドキュメンテーションの取り組みです。



ドキュメンテーションの意義

- ▶ 保育ドキュメンテーションは、働き方を変えると同時に、**保育の質を高める対話のツール。**
- ▶ 自分との対話(毎日のちょっとした振り返りで**子ども理解が深まります。**)
- ▶ 同僚との対話(同僚と話し合う風土ができ、**人間関係を良好にします。**)
- ▶ 保護者との対話(保護者に保育の見える化がなされ、**自然豊かな環境下での保育や生活体験を共有することで、保育内容が伝わり保護者との信頼関係が深まります。**)
- ▶ ICT化で**時間短縮**、あれもこれも別々に書くのを軽減させ、働き方改革にもつなげることが可能です。

参考：①第48回全国保育士会コース別研修

“保育の見える化に向けたドキュメンテーションの活用”

玉川大学 大豆生田啓友氏より

②『写真とコメントを使って伝えるヴィジブルな保育記録

のススメ』鈴木出版株式会社

小泉裕子、佐藤康富氏著書より



今年度の取り組みまとめ

▶ 1, 自然環境を活かした保育 ～栽培とクッキング～

↳毎日食べている米や野菜を育てできるまでの過程を知る。楽しくクッキングをして食への興味を育てながらおいしくいただき健康な体づくりをする。

▶ 2, 日本の文化を大事にする保育 ～伝統文化～

↳昔から東北地方に伝わる伝統文化に触れ、豊作を祝って踊られた由来を知る。

▶ 3, 子どもの思いを表現する保育 ～造形美術～

↳自然の中で経験した思いを、造形美術を通して表現する。

▶ 4, 地域とのつながりを大事にする保育 ～地域交流～

↳地域の米名人に稲作を教わり、直接体験する。地域の中で荒馬を披露する。

▶ 5, 保育を発信したい ～保育の見える化～

↳豊かな自然の中で経験したこと、成長した姿を保護者さんにより分かりやすい形で発信する。

